



看板犬のベルナちゃんは柴犬とトイプードルのミックス。



# 職人さん。

いの町のまちで会いましょう

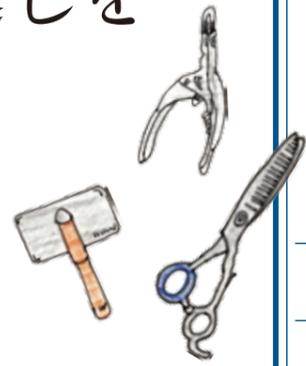
第1話

2020.1月号

## 縁ある子たちへの恩返しを 地元で、自分らしく。

はた やま なお とし

ペットトリマー 畑山直俊 さん



何本もの道が集まる菊楽の交差点に、2018年7月、犬のための美容室がお目見えしました。オーナーの畑山直俊さんはいつも、キャリアを脇に抱えて出勤してきます。連れているのは相棒で愛犬のベルナちゃん。

「1年半やってきて、1日の流れもできてきたし、ふたりだけでいる時間もリラックスできるようになってきました」と聞き、「ん？」と思っただけ、ベルナとふたりの時間という意味なのでした。なるほど。自宅には先住犬が3頭いて、ベルナはまだ1歳と少しの新入りさん。いわゆる、ビビリの子です。顔周りに触られるのも苦手だし、警戒して吠えることも。家ではベルナだけをかまっておあげられない分、職場で一緒に過ごしながら、人にも犬にもなれていくよう、コミュニケーションを深めています。

将来は生きものに關わる仕事をしたいという思いがあった畑山さん。高校生の頃に憧れたのは、イルカの調教師だったそうです。しかし、勉強しても就職先の水族館は県内というわけにいかず、倍率も高すぎる狭き門。やはり生まれ育ったいの町で暮



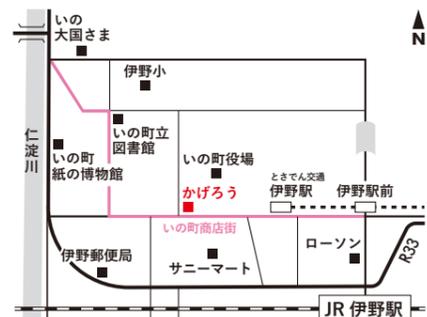
犬種ごとにカットが多様なトリミング。ハサミもいろいろ。



プロフィール：  
2018年より、犬の美容室「かげろう」オーナー。いの町出身・在住。高知市立高知商業高校・コスモ動物総合学園（大阪府）卒。

らしたい、働きたいという願いは強かったのです。大阪のペット専門学校でペットの看護を学んだのですが、血を見るのが苦手、卒業後はトリマーの道へ。大切な愛犬を預かり、シャンプーやカット、爪切りなど体のお手入れをするのが日々の仕事です。第二の獣医さんともいわれ、皮膚の状態や身体を触れてわかるしこり、歯の奥の炎症まで見て、ふだんと違うものを見つけたら、飼い主に伝えます。「治すのはお医者さんですが、日頃接するトリマーは、美容だけでなく、愛犬の健康チェックも含めてのトータルなアドバイザーなんです。」畑山さんは卒業後、大阪と高知で16年ほどのペットショップ勤務を経て、昨年の独立に至っています。同期生のうち、10年後残っているのは100人に1人ほどという厳しい業界。近年は男性のトリマーも全国的に増えていて、個人で営むサロンも増えてきました。

「両親も応援してくれていると思います。以前、家ではとんどしゃべらない父が子犬をもらってきて世話をしている姿を見て、母がとても驚いていたんです。自分もしゃべるのは得意ではな



### 犬の美容室 かげろう

いの町 1700-19  
営業 / 10:00~18:00  
定休日 / 月曜、木曜  
TEL / 088-802-8467



くて父に似ているかも。」畑山さんが中学生の頃、初めて飼った犬は、チョコちゃん。14歳まで生きましたが、最後は伝染病にかかったことを後悔しているそう。当時知識もなく、チョコにあげられなかったことを、仕事を通じてほかの子に恩返ししたいとの思いがあります。

ベルナとはタイミングよく、店のオープン前に出会いました。不思議にもチョコとベルナは外見が似ていて、毛もそっくりなはちみつ色。「巡り合わせを感じました。」犬や猫との愛情あふれる日々や別れを経験した方の中には、畑山さんのような経験をされた方もいるのではないのでしょうか。

お祖父さんは手漉き和紙職人で人間国宝となった濱田幸雄さん。小学校は祖父の家で通った。店名の「かげろう」は、その繊細な透明感から「かげろうの羽」と例えられる、土佐典具帖紙に由来しています。お祖父さんの家にもやはり、思い出の犬がいたそうです。